

花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針について

＜国産花きの強みと課題＞

農地・農業の担い手の確保において重要な分野

- ・平成24年の産出額が3,761億円と農業産出額の4%。
- ・若い世代の活躍も目立つなど、農地や農業の担い手の確保を図る上で重要な分野。
- ・多様で高品質な国産花きは国際的にも高い評価。近年輸出は増加傾向(平成25年に約100億円)。

産業

国際競争力の強化が緊要の課題

- ・関税が廃止された昭和60年以降、大量生産された安価な切り花の輸入が増加。
- ・燃油価格の高騰等が生産者の経営を圧迫。
- ・これら諸問題に対応するため、国際競争力の強化が緊要の課題。

生産

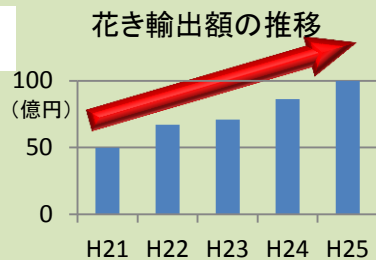
鮮度・日持ち性を向上させる流通体制の確立が必要

- ・多様な品目・品種、零細な小売り構造により、他品目に比べ高い卸売市場経由率(平成22年は83%)。
- ・輸入花きからシェアを回復するには、国産花きの鮮度、日持ちの良さ等の強みを活かすためのコールドチェーンの整備等が必要。

流通

輸出は増加傾向

- ・多様で高品質な国産花きは、国際的に高い評価を得ており、アジア新興国向けを中心に輸出が増加傾向。



輸出

盛んな育種・研究

- ・民間や個人育種家を中心とした育種が盛ん。種苗法に基づく出願全体の6割が草花類。さらにその9割が個人や民間の種苗会社によるもの。
- ・(独)農研機構花き研究所は、民間では行い難い省エネ技術や日持ち性・耐病性向上等の研究を実施。

研究

世界に誇る豊かな花きの文化

- ・我が国においては、生け花、盆栽、門松等、世界に誇る花きに関する豊かな伝統と文化が国民の生活に深く浸透。



文化

＜施策の方向＞

生産量その他の花き産業の振興の目標

	H24実績(億円)	H37目標・見込(億円)
産出額	3,761	6,500
輸出額	86	450
輸入額	460	300

	H24実績	H37目標
切り花類	41億本	67億本
鉢もの類	2.5億鉢	4.1億鉢
花木類	1.1億本	3.1億本
球根類	1.3億球	2.1億球
花壇用苗もの類	7.1億本	11億本
芝類	3.9千ha	6.4千ha
地被植物類	32百万本・鉢	52百万本・鉢

生産者の経営の安定

- ・花きの生産基盤の整備や知的財産の適切な保護・活用、自然災害による損失を補填する園芸施設共済への加入、燃油価格が一定以上に上昇した場合に補填金を交付するセーフティネットの構築を推進。

燃油価格高騰緊急対策

ヒートポンプ



木質バイオマス利用加温設備



生産性及び品質の向上の促進

- ・産地における低温設備等鮮度保持に資する施設の整備等を推進。

加工及び流通の高度化

- ・花束やフラワーアレンジメント等の加工に関する技術開発や卸売市場等流通関係施設の整備、流通経路の合理化等を推進。

鮮度の保持の重要性への留意

- ・生産から流通・販売に至るコールドチェーンの確立等鮮度保持の意義の普及啓発を推進。

産地

- ・採花後の前処理(抗菌剤等で水揚げ)
- ・出荷前の温度管理(低温保管)等の徹底



市場

- ・配送施設、卸売場の低温化
- ・輸送時の温度管理(積載前のトラック庫内の冷却等)の徹底



小売店

- ・市場から店舗まで搬送時の温度上昇の防止
- ・入荷時の適切な水揚げの実施、低温ショーケースの利用等。



輸出の促進

- ・オールジャパン体制による輸出拡大に向け、
 - ① 花きの文化と併せた国産花きに関する発信
 - ② 海外の市場・消費実態に関する情報の収集・提供
 - ③ 植物検疫に対応した病害虫防除方法の開発・普及
 - ④ 海外の見本市への参加等による商談機会の創出等を推進。



海外見本市



種苗法の特例

- ・耐病性や高温耐性、日持ち性を有する等、国際競争力の強化に特に資する新品種の育成に対し、出願料及び登録料(1~6年目)を4分の3軽減(法第13条)。

特例の適用対象となる新品種の育成(イメージ)



【輸出拡大】灰色かび病に対する抵抗性を持ち、夏場の高温・多湿化でも輸出可能となるスイートピーの新品種



【国産シェアの回復】高温耐性を持ち、夏場の需要期に合わせた安定供給が可能となるキクの新品種

研究開発の推進

- ・花きの新品種の育成や増殖技術の高度化、生産性・品質の向上等の研究開発を推進。

花きの文化の振興、花きの需要の増進

- ・花きの文化の振興に向け、
 - ① 公共施設やまちづくり等における花きの活用
 - ② 花育、地域における花きを活用した取組
 - ③ 日常生活における花きの活用等を推進。
- ・花きの需要の増進に向け、博覧会の開催等を推進。

公共施設やまちづくりにおける花きの活用



花育、地域における花きの活用



花き産業の健全な発展と心豊かな国民生活の実現